

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
小谷村	中土地区 (曾田集落、土谷集落、狐塚集落、中谷集落)	令和2年10月2日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	27ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	27ha
③地区内における65歳以上の農業者の耕作面積の合計	17ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	17ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	6ha
(備考)	

2 対象地区の課題

今後認定農業者及び集落営農組織が引き受ける意向のある耕作面積が多く存在しているが、認定農業者及び集落営農組織の構成員について、65歳以上の構成員も多く若い構成員の確保が必要となっている集落が多い。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

曾田集落の農地利用は、高齢化率も高く中心経営体の参入がない地域であるため、後継者の確保が重要課題である。今後は、中止経営体の参入や後継者確保を中心に検討していく。

土谷集落の農地利用は、高齢化率も高く中心経営体の参入がない地域である。移住者等の農地活用があり、今後移住者が後継者となるよう育成、また中心経営体の参入を検討していく。

狐塚集落の農地利用は、高齢化率が高いが中心経営体である集落営農組織1組織が参入しているため、共同取組を行っている。今後は、集落営農組織の人数増加や後継者育成を中心に検討していく。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中谷集落の農地利用は、中心経営体でなく個人での利用が多く、また高齢化率も高いのが状況である。中心経営体の参入と後継者育成を中心に今後検討していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

農地等の貸付等の意向

貸付け等の意向が確認された農地は、現在はない。

農地中間管理機構の活用方針

特になし。

鳥獣被害防止対策の取組方針

侵入防止柵の設置や地区猟友会への報告など捕獲体制の構築等に取り組む。

災害対策への取組方針

降雨等に対する被害防止へ向けて、水路の維持管理や法面保護等を集落で取り組む。